

石川島記念病院 波多野尚美(看護師)

功 績 感染状況にある施設に対して感染対策の観点からサーベイを行い課題に対して提言し、施設におけるCOVID-19の終息に向かうきっかけとなった功績。

推 薦 者 丸山 恭子

推 薦 理 由 他施設の現場をサーベイし改善して頂くよう提言する役割は、COVID-19感染対策にある程度、精通している必要があります。また、課題に対して相手の施設の人たちが理解し、改善してくれるような提言をする難しさがありますが、その役割を果たせたのではないのかと思い推薦致します。

内 容

第6波のCOVID-19感染力の強さにより、これまで以上の新規感染者数を遥かに上回り、連日10,000人を超える状況が続いていました。現在はやっと減少に転じてきていますが、予断を許さない状況にあります。私たちの病院のコロナ病床は、高齢者の方が80%以上を占めております。ひとたび感染に罹患すれば、重篤な状況になる可能性は極めて高くなります。

このような現在の状況の特徴を把握したうえで、其々の施設で実施している最善の感染対策に対して、他施設のスタッフが意見を述べることに、業務命令とはいえ抵抗を感じるのも真実かと思えます。

しかし、波多野看護師は、2020年に東京都看護協会の感染対策指導者研修受講し、当院でCOVID-19感染者が出た際にも院内感染対策委員として、スタッフへの指導や対策に積極的に関わってきました。日々の環境整備や手洗い指導と管理をリーダーシップを発揮して実践し、ラピジェルの使用量をグラフにし病棟内に掲示し、手洗いの大切さを啓蒙してきました。これらの一つ一つが他施設でのサーベイやアドバイスをする際の根拠になり、今回のケアポート板橋のサーベイの役割を果たせたのではないかと考えています。またさらにこの経験は、波多野看護師にとって看護師としての成長に繋がったのではないかと考えています。

訪問後よりケアポート板橋における感染状況が落ち着いてきたことは、訪問した波多野看護師にとっても荷を下ろしたのではないかと考えています。

また、3月5日にはねりま健育会病院へも訪問しアドバイスをを行い、後日に訪問時アドバイスした内容を分かり易くまとめた資料を作成してフィードバックすることも行いました。